

平成22年度上期
来函観光入込客数推計

函館市観光コンベンション部観光振興課

平成22年度上期来函観光入込客数推計

1 目的

本市の観光に関する諸資料とするため、平成22年度上期における来函観光入込客数、交通機関別入込数などの推計をまとめた。

2 観光入込客数の概要

平成22年度上期における観光入込客数は、約311万7千人で、前年度同期に比べ約24万1千人(8.4%)の増となった。

月別では、4月から8月は前年度に比べ増加したが、9月については減少した。

交通機関別ではバス、乗用車、航空機は増加したが、JR、フェリーでは減少した。

3 観光入込客数の傾向

全国的に景気が緩やかな回復傾向にあり、旅行意欲も回復の兆しを見せていることや、JRA函館競馬場のリニューアルオープン、箱館奉行所のオープンなどの効果もあり、上期の観光入込客数については、前年度同期に比べ増加した。

月別の入込客数をみると、4月から8月まででは前年実績の10%を超える増となったが、9月は前年比8%の減となった。

なお、交通機関別での観光入込客数の変化の背景としては、以下の要因が考えられる。

(1) 航空機については、海外からのチャーター便利用客の増加や、関西空港便が6月から9月まで増便されたことなどから国内航空路線の利用客が増加し、前年度同期に比べ9.4%の増加となった。

フェリーについては、前年度同期に比べ5.4%の減少となった。

(2) 高速道路利用料金割引制度の影響などから、バスについては20.4%増加、乗用車については6.3%の増加となった。

反面、JR利用者については、その影響を受けたほか、企画切符の発売が前年に比べて縮小されたことなどから、2.5%の減少となった。

平成22年度上期来函観光入込客数推計

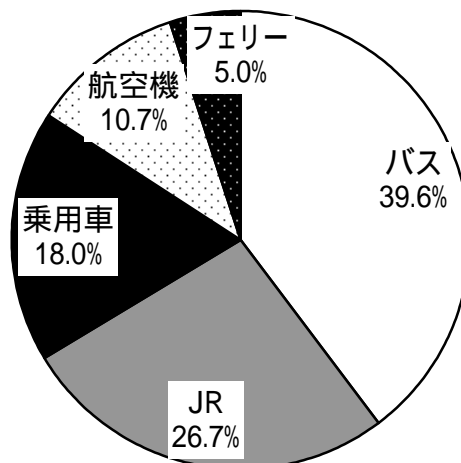
交通機関別観光客数

上段：平成22年度

下段：平成21年度

順位	交通機関	観光客(千人)		前年度 対比	交通機関別 構成比
1	バス	22	1,235.4	(%)	39.6
		21	1,025.9	120.4	35.7
2	J R	22	831.5	97.5	26.7
			海峡線		
		函館本線	421.7	97.3	13.5
		21	853.0	29.6	
			海峡線		419.8
		函館本線	433.2	15.0	
3	乗用車	22	562.5	106.3	18.0
		21	529.3		18.4
4	航空機	22	333.4	109.4	10.7
		21	304.8		10.6
5	フェリー	22	154.6	94.6	5.0
		21	163.4		5.7
合 計		22	3,117.4	108.4	100.0
		21	2,876.4		100.0

交通機関別構成比



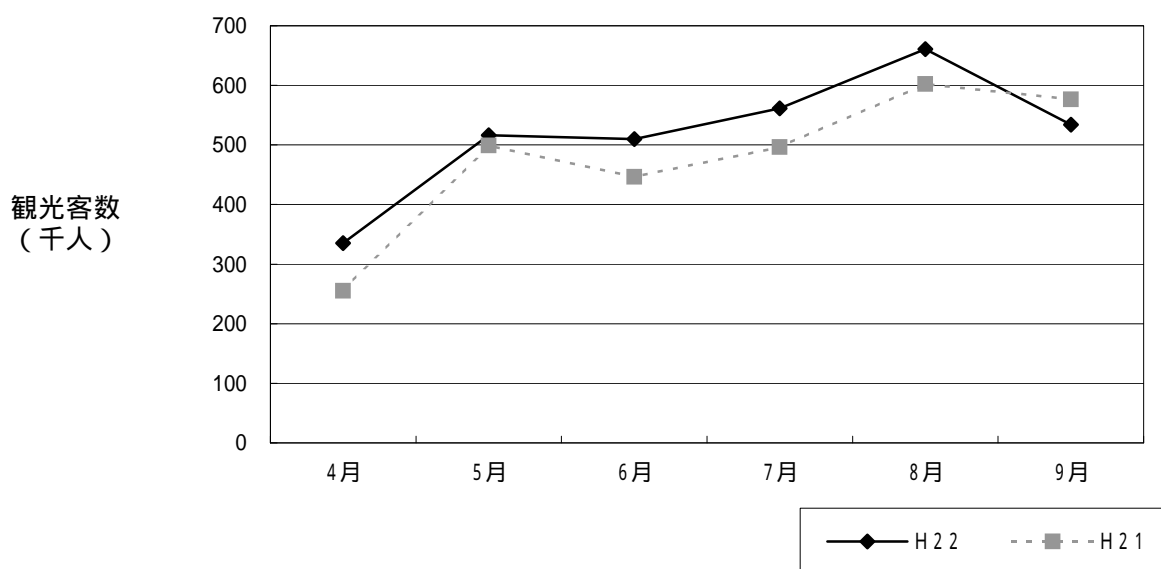
月別,道外・道内別,宿泊・日帰り別観光客数

上段:平成22年度

下段:平成21年度

(単位:千人)

区 分		観 光 客 数				宿 泊・日 帰 り 別	
		道 外	道 内	計	前年度対比	宿 泊	日 帰 り
4 月	22	222.4	112.6	335.0	131.2	217.2	117.8
	21	159.7	95.7	255.4		124.0	131.4
5 月	22	320.5	196.0	516.5	103.4	315.0	201.5
	21	301.7	197.6	499.3		287.8	211.5
6 月	22	329.3	180.4	509.7	114.2	298.0	211.7
	21	276.8	169.7	446.5		277.1	169.4
7 月	22	367.2	194.1	561.3	113.1	328.7	232.6
	21	325.0	171.2	496.2		311.5	184.7
8 月	22	410.9	249.9	660.8	109.7	374.1	286.7
	21	366.2	236.2	602.4		404.8	197.6
9 月	22	343.4	190.7	534.1	92.6	334.2	199.9
	21	381.0	195.6	576.6		377.1	199.5
上 期	22	1,993.7	1,123.7	3,117.4	108.4	1,867.2	1,250.2
	21	1,810.4	1,066.0	2,876.4		1,782.3	1,094.1
構成比 (%)	22	64.0	36.0	100.0		59.9	40.1
	21	62.9	37.1	100.0		62.0	38.0



年度別観光入込客数の推移(参考)

(単位：千人)

年 度	上 期	下 期	合 計	前年度対比
平成13年度 (2001)	3,631	1,672	5,303	108.6
平成14年度 (2002)	3,603	1,708	5,311	100.2
平成15年度 (2003)	3,610	1,638	5,248	98.8
平成16年度 (2004)	3,501	1,566	5,067	96.6
平成17年度 (2005)	3,259	1,584	4,843	95.6
平成18年度 (2006)	3,305	1,560	4,865	100.4
平成19年度 (2007)	3,220	1,598	4,818	99.0
平成20年度 (2008)	3,109	1,453	4,562	94.7
平成21年度 (2009)	2,876	1,456	4,332	95.0
平成22年度 (2010)	3,117			108.4

前年度上期と対比

